

相撲クイズ 全30問

Q1. 相撲を取る、円い競技場所のことを何という？

- ① 土俵(どひょう)
- ② リング
- ③ 舞台(ぶたい)

ヒント:俵(たわら)で円く囲まれています。

答え:① 土俵(どひょう) 力士が戦う円い場所のこと。俵を円く埋めて作り、その中で勝負します。

Q2. 力士の最高位(いちばん上の地位)を何という？

- ① 大関(おおぜき)
- ② 横綱(よこづな)
- ③ 関脇(せきわけ)

ヒント:太い綱を腰に締める、相撲の頂点です。

答え:② 横綱(よこづな) 力士の最高位。一度なると番付を下げることはなく、引退まで務めます。

Q3. 取組の勝ち負けを裁く、軍配を持った人を何という？

- ① 行司(ぎょうじ)
- ② 親方(おやかた)
- ③ 呼出し(よびだし)

ヒント:「はっけよい、のこった」と声をかけます。

答え:① 行司(ぎょうじ) 土俵上で勝負を裁く人。勝った力士の方へ軍配を上げて、勝敗を示します。

Q4. 力士が腰に締めている、取組用の装具を何という？

- ① はちまき
- ② まわし
- ③ たすき

ヒント:これをつかんで投げたり寄ったりします。

答え:② まわし 力士が腰に締める装具。これをつかんで技をかけるのも、相撲の見どころです。

Q5. 取組の前に力士がまく「塩」には、おもにどんな意味がある？

- ① 土俵を清めるため
- ② すべり止めのため
- ③ 味つけのため

ヒント:神聖な土俵を、きれいにする儀式です。

答え:① 土俵を清めるため 神聖な土俵を清めるための儀式。勝負前の気持ちを整える意味もあります。

Q6. 大相撲の本場所は、1年に何回ありますか？

- ① 3回(3場所)
- ② 6回(6場所)
- ③ 12回(12場所)

ヒント:だいたい2か月に1度のペースです。

答え:② 6回(6場所) 1月・3月・5月・7月・9月・11月の、年6回(6場所)開かれます。

Q7. 取組の開始。両者が同時に立ち上がることを何という？

- ① 立合い(たちあい)
- ② 仕切り(しきり)
- ③ 土俵入り

ヒント:「待ったなし」で、ぶつかり合う瞬間です。

答え:① 立合い(たちあい) 両力士が呼吸を合わせて同時に立ち上がる、勝負の始まりの瞬間です。

Q8. 力士のまげ(鬘)を結う、専門の職人を何という？

- ① 床山(とこやま)
- ② 呼出し(よびだし)
- ③ 世話人(せわにん)

ヒント:「床(とこ)」という字が入ります。

答え:① 床山(とこやま)

力士のまげを結う専門の裏方。関取は「大銀杏(おおいちょう)」という特別なまげを結います。

Q9. 相手を土俵の外へ押し出して勝つ、基本の技を何という？

- ① 押し出し(おしだし)
- ② 投げ飛ばし
- ③ 突き上げ

ヒント:手のひらで「押して」「出す」、最も多い決まり手です。

答え:① 押し出し(おしだし) 相手を押して土俵の外に出す技。最も多く見られる、相撲の基本の決まり手です。

Q10. 平幕(ひらまく)の力士が横綱を倒すこと(白星)を、特別に何という？

- ① 金星(きんぼし)
- ② 大番狂わせ星
- ③ 横綱星

ヒント:縁起のよい、星にちなんだ言葉です。

答え:① 金星(きんぼし)

平幕の力士が横綱に勝つこと。とても価値のある一番で、力士には特別な手当もつきます。

Q11. 番付で、横綱の次に高い地位は？

- ① 関脇(せきわけ)
- ② 大関(おおぜき)
- ③ 小結(こむすび)

ヒント:横綱に次ぐ、ナンバー2の地位です。

答え:② 大関(おおぜき) 横綱の次に高い地位。横綱がない時代は、この地位が事実上の最高位でした。

Q12. 「三役(さんやく)」とは、大関・関脇と、あと一つは？

- ① 小結(こむすび)
- ② 前頭(まえがしら)
- ③ 十両(じゅうりょう)

ヒント:「結(むす)び」という字が入る地位です。

答え:① 小結(こむすび) 三役は大関・関脇・小結を指します(横綱を含めて数えることもあります)。

Q13. 大相撲の本場所は、何日間にわたって行われる？

- ① 7日間
- ② 15日間
- ③ 30日間

ヒント:初日から千秋楽(せんしゅうらく)まで…。

答え:② 15日間 初日から千秋楽まで15日間。力士は1日1番、計15番を取ります。

Q14. 行司が手に持つ、うちわのような道具を何という？

- ① 軍配(ぐんばい)
- ② 扇子(せんす)
- ③ うちわ太鼓

ヒント:戦国武将が戦で振ったものと、同じ名前です。

答え:① 軍配(ぐんばい) 行司が勝敗を示すために持つ道具。勝った力士の方へ「軍配を上げる」と言います。

Q15. 関取が土俵入りで身に着ける、豪華な刺繍の前掛けを何という？

- ① 化粧まわし(けしょうまわし)
- ② 晴れ着
- ③ 陣羽織(じんばおり)

ヒント:取組では使わない、見せるための「まわし」です。

答え:① 化粧まわし(けしょうまわし)

土俵入りで着ける装飾用のまわし。後援者から贈られる、豪華な刺繍入りのものが多いです。

Q16. 1場所(15日間)で、勝ち数が負け数を上回る事(8勝以上)を何という？

- ① 勝ち越し(かちこし)
- ② 全勝(ぜんしょう)
- ③ 上がり星

ヒント:「越し(こし)」という字が入ります。

答え:① 勝ち越し(かちこし)

8勝以上で「勝ち越し」。これを続けると番付が上がっていきます。逆は「負け越し」です。

Q17. 番付で、同じ地位なら東(ひがし)と西(にし)、どちらが上位とされる？

- ① 東
- ② 西
- ③ 同じ

ヒント:太陽がのぼる方角が、格上です。

答え:① 東 同じ地位では東が上位。番付表でも、東方が上位として書かれます。

Q18. 相撲には、ボクシングのような体重別の階級が…？

- ① ある
- ② ない(無差別)
- ③ 3つある

ヒント:小さな力士が大きな力士を倒すのも、見どころです。

答え:② ない(無差別)

大相撲に体重別の階級はありません。だからこそ小兵力士の活躍に、大きな声援が送られます。

Q19. 力士の技の総称「決まり手」。現在、いくつ定められている？

- ① 48手
- ② 82手
- ③ 100手

ヒント:昔は「四十八手」と言われましたが、今はもっと多いです。

答え:② 82手 日本相撲協会が定める決まり手は、現在82手。昔の「四十八手」から数が増えました。

Q20. 幕内最高優勝の力士に贈られる、天皇からの大きな銀杯を何という？

- ① 賜杯(しはい)
- ② 金杯(きんぱい)
- ③ 栄光杯

ヒント:天皇から「賜(たまわ)る」杯です。

答え:① 賜杯(しはい) 幕内優勝力士に授与される、天皇からの賜杯。優勝の象徴となる、立派な銀杯です。

Q21. 昭和の大横綱で優勝32回、「巨人・大鵬・卵焼き」と子どもの好物に並び称されたのは？

- ① 大鵬(たいほう)
- ② 柏戸(かしわど)
- ③ 栃錦(とちにしき)

ヒント:当時の子どもが好きなものの、代名詞でした。

答え:① 大鵬(たいほう)

優勝32回を誇る昭和の大横綱。その強さは「巨人・大鵬・卵焼き」と並び称されました。

Q22. 「ウルフ」の愛称で人気を集め、53連勝・通算1000勝超えを記録した昭和末の横綱は？

- ① 北の湖(きたのうみ)
- ② 千代の富士(ちよのふじ)
- ③ 輪島(わじま)

ヒント:引き締まった体と鋭い眼光から、オオカミにたとえられました。

答え:② 千代の富士(ちよのふじ)

53連勝や通算1000勝超えなど数々の記録を残した名横綱。「ウルフ」の愛称で親しまれました。

Q23. 69連勝という不滅の大記録を打ち立てた、戦前の伝説的横綱は？

- ① 双葉山(ふたばやま)
- ② 玉錦(たまにしき)
- ③ 男女ノ川(みなのがわ)

ヒント:「相撲の神様」とも呼ばれます。

答え:① 双葉山(ふたばやま)

昭和初期に69連勝を達成。今なお破られない大記録で、「相撲の神様」と呼ばれます。

Q24. 幕内最高優勝の最多記録(45回)を持つ、モンゴル出身の大横綱は？

- ① 朝青龍(あさしょうりゅう)
- ② 白鵬(はくほう)
- ③ 日馬富士(はるまふじ)

ヒント:平成から令和にかけて活躍した、優勝回数記録保持者です。

答え:② 白鵬(はくほう) 優勝45回という歴代最多記録を持つモンゴル出身の大横綱。2021年に引退しました。

Q25. 初めての外国出身横綱が誕生したのは、どこの出身力士?

- ① ハワイ(アメリカ)
- ② モンゴル
- ③ ブラジル

ヒント:太平洋に浮かぶ、常夏の島の出身です。

答え:① ハワイ(アメリカ)

1993年、ハワイ出身の曙(あけぼの)が初の外国出身横綱に。のちにモンゴル勢が台頭します。

Q26. 土俵の円(勝負俵の内側)の直径は、約何メートル?

- ① 約2.5メートル
- ② 約4.55メートル
- ③ 約7メートル

ヒント:15尺(しゃく)と決められています。

答え:② 約4.55メートル 直径は約4.55メートル(15尺)。この狭い円から出ると、負けになります。

Q27. 大相撲を主催・運営している団体を何という?

- ① 日本相撲協会
- ② 全日本相撲連盟
- ③ 国技館組合

ヒント:「協会」という言葉が入ります。

答え:① 日本相撲協会 公益財団法人・日本相撲協会。本場所の開催や、力士の養成などを行っています。

Q28. 取組で力士の体が「死に体(しにたい)」と判断されると、どうなる?

- ① やり直しになる
- ② もう体勢を立て直せず、負けと判断される
- ③ 引き分けになる

ヒント:「もう起き上がれない」体勢のことです。

答え:② もう体勢を立て直せず、負けと判断される

重心を失い、もう逆転できないと判断された体勢のこと。たとえ先に相手が落ちてても、負けとされます。

Q29. 土俵の上の屋根「吊り屋根」の四隅に下がる、四色の房(ふさ)。これは何を表す?

- ① 四つの季節・方角の守り神
- ② 四つの相撲部屋
- ③ 四人の行司

ヒント:青・赤・白・黒の四色には、それぞれ意味があります。

答え:① 四つの季節・方角の守り神

四季と方角を守る四神(青龍・朱雀・白虎・玄武)を表します。青房・赤房・白房・黒房と呼ばれます。

Q30. 力士が引退するとき、まげを切り落とす儀式を何という?

- ① 断髪式(だんぱつしき)
- ② 卒業式
- ③ 髪切り祭り

ヒント:「髪を断(た)つ」と書きます。

答え:① 断髪式(だんぱつしき)

引退する力士のまげに、関係者が少しずつはさみを入れて切る儀式。土俵人生の締めくくりです。